

「東アジア若手研究者合同研究フォーラム」(東亞青年研究者共同研究論壇)

依存と融合：日本研究の新たな展望(依存與融合：日本研究新願景)

2020年11月21日 フォーラムのスケジュール

時間(日本と韓国+1時間)		内 容	場所	
午前 8:30-12:30	8:30-8:55	参加者のチェックイン		
	9:00-9:30	<b>開幕式</b> 司会者：石原忠浩 1・挨拶一：政治大学学術副学長 2・挨拶二：日本台湾交流協会広報文化部長 3・挨拶三：政治大学国際事務学部長 4・挨拶四：政治大学国際関係センター主任	270201	
	9:30-9:45	集合写真		
	9:50-10:30 (発表20分/ 1人)	<b>テーマ発表</b> 座長：林立萍		270201
		1	小野正樹(筑波大学)： 日本語らしさとわかりやすい日本語	
		9:50-10:10		
	2	丁紅衛(北京外国語大学)： 日本的環保産業		
		10:10-10:30		
	10:30-10:45	休憩時間		
	10:45-11:25 (発表20分/ 1人)	<b>テーマ発表</b> 座長：何思慎		270201
1		徐承元(高麗大学)： 韓国と日本の対ASEAN 安保政策はどう 違うのか		
10:45-11:05				
2	于乃明(政治大学)： 阿里山中植民地時代の記念碑は、いま 私達に何を語りかけているのか。			
	11:05-11:25			
11:30-12:30	昼ご飯			

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表15分 /1人)	<b>会場一：日本語学と文学 (一)</b> 座長：鄭家瑜		270201
		1	飯田朋子(筑波大学)： 技能実習生制度を巡る日本語の課題 12:30-12:45	
		2	朱桂榮(北京外国語大学)： 基礎教育階段外語教材的研究與開發 12:49-13:04	
		3	徐梅婷(北京外国語大学)： 日本における「紅樓夢」の流行 13:07-13:22	
		4	鄭家瑜(政治大学)： 古事記中の日本神話 13:25-13:40	
	13:40-13:50	休憩時間		
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表15分 /1人)	<b>会場一：日本語学と文学 (二)</b> 座長：蘇文郎		270201
		1	文昶允(筑波大学)： 短縮語形成に影響する特殊モーラの 音韻特性 13:50-14:05	
		2	徐ユリ(高麗大学)： 社会人日本語学習者の学習継続要因に 関する一考察 14:09-14:24	
		3	陳祥(筑波大学)： 日本語の繰り返し表現 14:27-14:42	
4		葉秉杰(政治大学)： 文化の語形成に対する働き-[X]動詞連 用形複合語を例に 14:45-15:00		

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15分 /1人)	<b>会場二：日本の歴史と社会 (一)</b> 座長：劉長輝		270202
		1	明石純一(筑波大学)： 日本の移民政策 12:30-12:45	
		2	李承煥(高麗大学)： 日清戦争(中日甲午戦争)時期中国と日本 の韓半島認識比較研究-李鴻章と山県有 朋の地政学的認識を中心に- 12:49-13:04	
		3	羅仕昌(政治大学)： 史料から見る日本の留学生政策—戦間 期日中両国の新聞を対象に— 13:07-13:22	
		4	申宰旻(高麗大学)： 1980年代在日朝鮮人の民衆文化運動研 究-『民涛』に現れた実践と同時代韓国と の比較を中心に 13:25-13:40	
	13:40-13:50	休憩時間		
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15分 /1人)	<b>会場二：日本の歴史と社会 (二)</b> 座長：林珠雪		270202
		1	村雲和美(筑波大学)： 技能実習生政策の課題 13:50-14:05	
		2	金麗眞(高麗大学)： 日本文学に表れた日韓合併以後日本社 会での「不逞鮮人」言説 14:09-14:24	
		3	韓采旻(高麗大学)： 『平家物語』に現れた寺院勢力に対する 一考-平家と延暦寺の連動を中心に - 14:27-14:42	
4		徐田奇(北京外国語大学)： Sex and Sleaze in Modern Japan 14:45-15:00		

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	<b>会場三：日本の政治と経済 (一)</b> 座長：林賢参		270205
	1	石原忠浩(政治大学)： 第二次安倍政権下の日台関係：継続、突 破、停滞	12:30-12:45	
	2	許元寧(高麗大学)： 冷戦以降における日本の東南アジア戦 略	12:49-13:04	
	3	清水裕美子(政治大学)： 日本の文化外交と日本語学習者、観光客 への影響	13:07-13:22	
	4	劉陳樟(北京外国語大学)： 小論”政教分離”原則的意涵—以〈神道 指令〉為中心	13:25-13:40	
	13:40-13:50	休憩時間		
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	<b>会場三：日本の政治と経済 (二)</b> 座長：黎立仁		270205
	1	王紹旬(政治大学)： 日本の民泊新法が国際観光推進戦略に 与える影響について	13:50-14:05	
	2	蔡捷(高麗大学)： 脱冷戦期韓国と日本の海洋安保戦略に 関する研究——韓日両国の海軍力を中 心に	14:09-14:24	
	3	任加勉(北京外国語大学)： エスニック・コミュニティにおける住民 の協働と地域づくり—埼玉県川口市西 川口を事例として—	14:27-14:42	
4	申育誠(政治大学)： 日本公的年金制度における健康保険の 財政改革	14:45-15:00		
15:00-15:15	休憩時間			

	15:15-16:42 パネルディス カッション (総合座談) (発言時間： 8分/人)	<b>テーマ：</b> <b>東アジア地域における日本研究の交流と 東南アジアとの共同研究の可能性</b>  座長：徐興慶、于乃明  <b>パネリスト (與談人)：</b>	270201
	1	鄭炳浩(高麗大学) 15:15-15:30	
	2	徐興慶 (中国文化大学) 15:30-15:38	
	3	小野正樹(筑波大学) 15:38-15:46	
	4	丁紅衛(北京外国語大学) 15:46-15:54	
	5	何思慎(輔仁大学) 15:54-16:02	
	6	林賢參(台湾師範大学) 16:02-16:10	
	7	林立萍(台湾大学) 16:10-16:18	
	8	劉長輝(淡江大学) 16:18-16:26	
	9	林珠雪(東海大学) 16:26-16:34	
	10	黎立仁(台中科技大学) 16:34-16:42	
	16:45~16:50	<b>閉幕</b> 挨拶：大会秘書長	270201
夕刻	17:30~	晩餐会	金色漁家

フォーラムの発表者リストと発表テーマ

政治大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	于乃明	教授	阿里山中植民地時代の記念碑は、いま私達に何を語りかけているのか
2	鄭家瑜	准教授	古事記中の日本神話
3	石原忠浩	助教授	第二次安倍政権下の日台関係：継続、突破、停滞
4	葉秉杰	助教授	文化の語形成に対する働き-[X]動詞連用形]複合語を例に
5	羅仕昌	院生（博士）	史料から見る日本の留学生政策—戦間期日中両国の新聞を対象に—
6	申育誠	院生（博士）	日本公的年金制度の財政改革
7	清水裕美子	院生（博士）	日本の文化外交と日本語学習者、観光客への影響
8	王紹旬	院生（博士）	日本の民泊新法が国際観光推進戦略に与える影響について
北京外国語大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	丁紅衛	教授	日本的環保産業
2	朱桂榮	教授	基礎教育階段外語教材的研究與開發
3	劉陳檸	院生(修士)	小論”政教分離”原則的意涵—以〈神道指令〉為中心
4	任加勉	院生(修士)	エスニック・コミュニティにおける住民の協働と地域づくり—埼玉県川口市西川口を事例として—
5	徐梅婷	院生(修士)	日本における「紅樓夢」の流行
6	徐田奇	院生(博士)	Sex and Sleaze in Modern Japan
高麗大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	徐承元	教授	韓国と日本の対 ASEAN 安保政策はどう違うのか
2	鄭炳浩	教授	日本研究における東アジアと東南アジアの共同研究の可能性と展望
3	許元寧 (Wonyoung HUR)	院生	冷戦以降における日本の東南アジア戦略
4	蔡捷 (CAI JIE)	院生	脱冷戦期韓国と日本の海洋安保戦略に関する研究-韓日両国の海軍力を中心に
5	申宰旻 (ShinJaemin)	院生	1980年代在日朝鮮人の民衆文化運動研究-『民涛』に現れた実践と同時代韓国との比較を中心に
6	徐ユリ (Seo Yuri)	院生	社会人日本語学習者の学習継続要因に関する一考察
7	韓采旻 (Han Chae Min)	院生	『平家物語』に現れた寺院勢力に対する一考-平家と延暦寺の連動を中心に -
8	金麗眞 (Yeojin Kim)	院生	日本文学に表れた日韓合併以後日本社会での「不逞鮮人」言説
9	李承煥	院生	日清戦争(中日甲午戦争)時期中国と日本の韓半島認識比較研究-李鴻章と山県有朋の地政学的認識を中心に-
筑波大学			

番号	氏名	職階	発表テーマ
1	小野正樹 (ONO Masaki)	教授	日本語らしさとわかりやすい日本語
2	文昶允 (MOON Changyun)	教授	短縮語形成に影響する特殊モーラの音韻特性
3	明石純一 (AKASHI JUNICHI)	教授	日本の移民政策
4	陳祥	院生(博士)	日本語の繰り返し表現
5	飯田朋子	院生	技能実習生制度を巡る日本語の課題
6	村雲和美 (MURAKUMO KAZUMI)	院生	技能実習生政策の課題